

#### ④ 昼食と農家との交流会

バスは、中央コミュニティセンターに移動し、昼食の時間です。今回は、地産地消や農業者と消費者との交流を進めている「千歳市グリーンツーリズム協議会」の皆さんのご協力で、千歳産の食材を使った昼食をいただきました。

メニューは、雑穀入りごはんやヤーコンのきんぴら、放牧豚ソーセージとりたて野菜の盛り合わせなどで、いずれも新鮮そのものです。

参加者からは、「千歳産の食材は新鮮で舌ざわりが良い」、「農家の方の手づくりのあたたかい味がした」などの声が聞かれ、農家の想いと地産地消への理解を深めて



千歳産の食材を使った農家の手づくりの昼食

### 特集 まちめぐりガイドバス同乗体験記！

いました。

昼食の後、協議会の皆さんとの交流会が行われました。テーマは「地産地消」。交流会では、農家の立場で、協議会の南宏明さん、中村由美子さん、浅野正春さん、山口洋子さんから意見発表が行われました。

「市内には農産物の直売所がたくさんあり、直売会も多く行われている。そこでは、農家と消費者が直接話をするので、消費者が何を求めているのか、農家がどのような想いで生産しているのかお互いに理解でき、農家と消費者の結びつきができる」

「農産物の低価格品が販売されることがある。価格に関心を持つか、少し高額でも地元で農家の顔を見ながらその農産物を購入するのか考えてほしい。農家の努力を理解してくれたらありがたい」



農家の熱のこもった意見が出た意見交換会

「農家は地元農産物を使った料理を知っている。農産物も料理の知識も地元のものでまかなえる調理集もあるので活用してほしい」

参加者は、農家の皆さんの地産地消への熱意に納得した表情で聞いていました。

#### 午後の見学

交流会の後、バスは、前庭で育成した花を使ったドライフラワーづくりを行う工房やレストランを併設したいちご狩りなどが体験できる農園、農家など10者が共同で運営する農産物直売所を回りました。参加者は、それぞれの施設で運営方法や課題などの説明を受け、農家の新しい取組を学んでいました。



今回まちめぐりガイドバスにともに参加した皆さん

## 記事の詳細

企画部  
広報広聴課  
広聴係

☎(24) 0108

今回のガイドバスに参加した方の感想として、「新しい農業を目指し自立して活躍している方がたくさんいて、農業が変わっていくことを身近に感じた」、「千歳に長く住んでいても、まだ知らないことがたくさんあることを知り、地産地消を考えるきっかけになった」などの声が寄せられました。

参加した皆さんは、実際に見て聞くことで千歳の農業の新たな動きや農家の想いを理解できたようです。

今回は、8月27日に火山と温泉、湖と森の支笏湖をテーマに出發します（申込方法などは8ページをご覧ください）。

今後もガイドバスでは、千歳の魅力ある自然や施設、さまざまな取組などを幅広く紹介していきます。